



足立区教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

足立区立第十三中学校

1 人権教育の推進



- (1) 学校教育全般を通して、人間尊重の精神と思いやりの心、たくましく生き抜く力、自律心、多様性を受容する心、協働の精神、規範意識を育む指導の充実を図る。
- (2) いじめに関する研修を充実させ、アンケートを活用した早期発見・早期対応を徹底する。
- (3) 年2回の hyper-QU の実施により、効果的なグループエンカウンター等を通して基本的生活習慣や規範意識を確立させ、自己肯定感を育成することでいじめをしない・許さない集団作りを推進する。

2 特別支援教育の充実



- (1) 特別支援教育コーディネーターを中心とした特別支援教育委員会の活動を一層進め、特別な支援を必要とする生徒の個に応じた適切な教育を計画的・組織的に推進する。
- (2) 特別支援学級と通常学級の交流を図り、多様性を受容する心を養う。

3 A I ドリル・I C T機器の活用



- (1) 5教科(国数英社理)におけるA I ドリルの活用で、学びの基礎の向上を図る。
- (2) 教育活動全般におけるI C T機器の積極的を活用し、Society5.0に必要な、科学的に思考・吟味する力や文章や情報を正確に読み解き対応する力を身に付けさせるための指導の展開。

4 オリンピック・パラリンピック教育の推進



- (1) 保健体育の授業を中心にパラリンピック競技の実施など、オリンピック・パラリンピックと関連付けた多様な取組を展開する。
- (2) アスリートを招聘した講演、特別支援学級とのパラリンピックスポーツ交流を通して障がい者理解、スポーツ志向の資質を育成する
- (3) 地域清掃やボランティア活動等の体験を通してボランティアマインドを育成する。

5 小中連携教育



- (1) 授業参観、研究協議会の実施により教員相互の授業改善を実施する。
- (2) 中1ギャップ解消のために、小学校6年生対象の出前授業を実施する。

6 地域との連携



- (1) 地域ふれあい祭り「あしの芽祭」を開かれた学校づくり協議会やP T Aと連携して実施する。
- (2) 地域人材を活用した「職業人の話を聴く会」「職場体験」「面接指導」を実施する。